

1 国語に関する調査

【特長】

- 目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることがよくできている。
- 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことを通して、考えをより明確なものにしたり思考をまとめたりする力がついている。

【課題】

- 資料を活用し、自分の考えが伝わるように表現を工夫することに課題が見られる。相手や目的を一層意識し、どのような資料を用意すればよいかを考えさせる必要がある。
- 目的や意図に応じて書く学習に課題がある。事実と感想、意見とを区別して書くなど自分の考えが伝わるよう書き表し方を指導していく。

2 算数に関する調査

【特長】

- 数量の関係を口を用いた式に表すことがよくできている。数量の関係について、解き方を考えたり説明したりする活動を充実させた成果であると考えられる。
- 目的に応じて収集したデータをグラフに表し、グラフの特徴を捉えることがよくできている。円グラフの割合を読み取らせたり目盛りを数えさせたりするなど基礎基本の定着を図ったためだと考えられる。

【課題】

- 球の直径の長さや立方体の一片の長さの関係を捉えて、立方体の体積を求める問題の正答率が低い。体積や面積の求め方について、既習学習の復習が必要である。
- 道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することに課題が見られる。問題を解く際に、自分の言葉で考えをまとめる学習が必要である。

3 児童質問紙の結果より

【特長】

- 人が困っているときは、進んで助けしていると回答している児童が多い。助け合う人間関係が築けており、友達関係に満足している児童が多いと考えられる。
- 授業において調べ学習等にタブレット端末などの ICT 機器を活用したことで、児童の多くは「わからないことがあった時に、すぐ調べることができる。」と回答している。

【課題】

- 学級活動における話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると回答した児童の割合が低い。学級会などで決まった事柄を一人一人が自分の事として取り組み、定期的に振り返る機会を充実させていく。
- 新聞を読む児童の割合が低い。新聞を読むことのよさを考えさせるとともに、新聞を活用した授業を推進していく。

授業・学校生活の充実に向けた取組

- 授業における様々な場面で ICT 機器をさらに活用することで、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に努める。
- 児童一人一人の努力を大切に、認め、褒め、励ますなどして、達成感を味わったり自己肯定感が高まったりすることができるように支援していく。
- すべての児童がどんな理由があってもいじめを行ってはいけないという考えをもてるように、いじめについて考えさせる場を計画的に設定し、継続していじめ防止等に取り組んでいく。
- 各教科や行事などを通して地域の方々との交流を深め、自分も地域の一員であるという意識をもたせる。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- 「朝食を毎日食べている」「毎日、同じ時刻に起床・就寝している」と回答した児童が多かったです。一日の生活リズムを作る大切な習慣ですので、今後も継続できるようお願いします。
- インターネットやゲーム、スマートフォンの扱いに関する家庭内のルールを確立し、約束を守っていると回答した児童が多かったです。継続して環境づくりにご協力ください。
- 児童には、地域の行事に進んで参加し、地域の方々と繋がり、地域に対する愛着心をもってほしいと考えます。地域を大切にしようとする気持ちをもっている児童を、家庭・地域・学校で連携して育てていきたいと思っておりますのでご協力をお願いします。